



学校だより

鈴鹿市立加佐登小学校

電話 059-378-0063

FAX 共用 059-378-0006

校長 山中 喜宏

https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/eskasado/

めざす学校像＜安心して過ごせる学校＞『今日が楽しく、明日が待たれる学校』

加小っ子だより

令和6年12月17日 No.32

12月も2週間がたち、2024年も残りわずかとなりました。

もうすぐ、クリスマスやお正月など楽しいイベントのある冬休みがやってきます。長かった2学期も残り1週間となりましたが、終業式までは気持ちを引きしめて学校生活を送っていきましょう。

今回の加小っ子だよりでも、12月の各学年の授業や出会い学習等、学校での活動の様子をお伝えします。



委員会活動がありました

12月9日(月)、2学期最後の委員会活動がありました。

栽培委員会では、学校を花でいっぱいにとしようと、ビオラの苗をプランターに定植しました。保護者や地域の方にも来ていただき、お手伝いしていただきました。

委員会の子どもたちは、植え方を教えてもらいながら苗をポットから出して、根っこをちぎって、上手にプランターに植え替えていました。



仕上げに水やりを行い、今後の水やり当番を決めて作業は終了しました。ボランティアの皆様にはお手伝いいただき本当にありがとうございました。

毎月10日は『人権の日』です。 友だちを大切に、自分を大切に

安心して過ごせる学校『今日が楽しく、明日が待たれる学校』を目指して、毎月10日を「人権の日」として、「お互いを尊重し、なかまも自分も大切にする」日とし取り組んでいます。

1948年12月10日に「世界人権宣言」が作られました。日本では、1949年より12月4日から12月10日までを「人権週間」として毎年人権を大切にする日、自分と周りの人を大切にする日としています。



いじめやいろいろな違い、SNSを使った誹謗中傷など、まだまだたくさんの方が傷ついています。

自分が、そして周りの人が明るく、元気に笑顔でいられるように、日ごろから言葉がけや行動ができているか自分自身を振り返り、「友だちを大切に、自分を大切に」できる行動をしていきましょう。

クリスマスリースをつくりました

たんぽぽの生活単元の授業でクリスマスリースをつくりました。

秋に収穫したさつまいものつるを使ってフレームをつくり、そこに折り紙で作ったサンタさんやカラーボールなどを接着剤やグルーガンを使ってフレームに接着して飾りつけをしました。

みんなが作ったクリスマスリースを教室に飾って、クリスマスを楽しみたいですね。



杉の子特別支援学校と 居住地交流(2回目)を行いました

12月10日(火)、杉の子特別支援学校の児童と6年生が今年度2回目の居住地交流を行いました。

今回は、一緒にボッチャを体験しました。全員と楽しみながら関わることができるように、時間で交代しながら行いました。

杉の子特別支援学校の先生から、「6年間交流できたけど、これで終わりではなく、スタートです。これからも地域に住んでいるので、顔を見たら声をかけてほしいし、白鳥中に行っても交流は続くから、その時も仲よくしてほしいです。」とあいさつがありました。帰り際、みんなが最後まで手を振って見送りました。



12月16日は加佐登小学校の創立記念日です

先日、学校ホームページの更新作業をしていたところ、たまたま学校沿革史が目にとまったため読むことにしました。

加佐登小学校の始まりは、「明治24年4月 高津瀬尋常小学校が設立」とあり、次に「明治41年12月16日 分教場(分校の中で特に小規模のもの)を廃止し、校舎を新築」とありました。

その下にかっこ書きで(この日を加佐登小学校の創立記念日とする)と記されています。偶然にも、「12月16日はもうすぐだ」と思い、加小っ子だよりでお知らせしようと思いました。

明治41年は、西暦で1908年です。今年で創立116年となりました。

沿革史を見ていくと、学校の取組が評価され、表彰されたことや校舎や体育館、プールなどの施設が完成したことの他に、火災にあい校舎が全焼したことなど、長い月日を重ねて、加佐登小学校の今があることがわかります。

116年間、この場所で教育活動を続けてこられたことに歴史の重みを感じるとともに、これからも、歴史を刻み続けることに寄与できる一人として、気持ちが引き締まる思いを抱きました。

長年にわたっての保護者、地域の方々のご理解とご協力に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

なお、学校沿革史は、加佐登小学校のホームページで参照いただけます。下のURLから閲覧ください。

加佐登小学校ホームページ

<https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/eskasado/>

<市制80周年記念レガシー事業 加小っ子だより(R5.3.9 発行)より>

めざす学校像＜安心して過ごせる学校＞『今日が楽しく、明日が待たれる学校』

学校だより

鈴鹿市立加佐登小学校
電話 059-378-0063
FAX 共用 059-378-0006
校長 山田 晋司
https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/eskasado/

加小っ子だより

令和5年3月9日 No.11

鈴鹿市制施行80周年記念 みんなで創ろう！レガシー事業
よみがえれ「希望の庭」



学校の正門の横に、庭（築山・池）があるのを知っていますか？この庭は「希望の庭」という名前がついており、約50年前のPTAの皆さんが協力して作ったものです。

今から52年前（1970年10月1日）、今の本館校舎の場所にあった昔の校舎は、夜中に火事が起きて焼失してしまいました。その後、保護者や地域の皆さんが、焼け跡のかたづけを



したり、無くなった机や椅子の代わりになるものを運んできたりして、少しでも早く授業を始められるようにしてくれたそうです。

翌年、新校舎が完成しました。新しい校舎で再スタートを切るとき、PTAの皆さんが「新校舎にふさわしい情操教育の場を会員の力でつくりたい」という思いで、正門の横に庭をつくることを決めました。当時のPTAの皆さんが庭石を買ってきたり、約100本の木を集めたりして、交代で作業をしてこの庭を築き上げたのです。池は噴水が出て滝が流れるようになっていました。この庭には、このような歴史があるのです。

それから約50年を経た現在は、多くの草木が茂って庭石や松の木が見えにくくなり、池の中に大きなブロックが置かれたままになってしまいました。

鈴鹿市は令和4年に市制施行80周年を迎えました。それを記念して、鈴鹿市立小学校・中学校において、地域の活性化につなげることを目的として、「鈴鹿市制施行80周年記念みんなで創ろう！レガシー事業」を行うこととなりました。これを受けて、加佐登小学校では、創立114年の長い歴史の一つである「希望の庭」を2月に改修して、豊かな自然環境を整備するとともに、児童と保護者、地域の方が加佐登小学校の歴史を振り返る契機にしようと考えました。

3月7日(火)、朝のオンライン集会では、児童会役員が「希望の庭」の歴史を全校児童に伝えました。そして、この日は業間休みと昼休みの時間に庭を開放したところ、多くの児童が庭を訪れ、池の中をのぞき込んだり、おしゃべりをしたりして過ごしていました。保護者、地域の方々も、学校にお越しの際にはぜひ「希望の庭」にお立ち寄りください。

改修前の「希望の庭」



改修後の「希望の庭」



朝の集会で児童会役員が全校児童に「希望の庭」の歴史を紹介した日は、休み時間に池の周辺を開放しました。（写真上・右下）
（駐車場横にあるため、音は児童に開放していません）



「加佐登小学校創立100周年記念誌」より